

房総の生物 ワークシート

ようこそ！房総の生物展示室へ！

展示を見ながらたくさん新しいことを発見しよう。

◎展示を見て（ ）の中に言葉を入れましょう！

1 まちの中の自然

『一寸の虫にも五分の魂』このことわざにはどんな意味が込められているのでしょうか。

植物は自分で動くことができないので、（ ）を残し、分布を広げるため、（ ）を利用したり（ ）に食べられたり、工夫しながらさまざまな場所へ散らばっていきます。



2 北総の台地『谷津』



北総の台地には『谷津』と呼ばれる特徴的な地形が見られます。これは、かつて（ ）だった谷が、（ ）で埋められてできたものです。現在は、（ ）としてその多くが利用され、周囲の（ ）も含め、北総を代表する自然となっています。

3 小櫃川の生物

小櫃川は、千葉県の中を流れる一番（ ）川です。その総延長は（ ）kmとされ、（ ）から（ ）に向かって流れています。源流付近にはよく（ ）が残され、河口の三角州は東京湾（ ）の干潟として渡り鳥や魚類の生活の場になっています。



学習した日	年 月 日 ()
学年クラス	年 組 番
氏 名	



4 清澄山の森林

ここは千葉県の南部、房総半島の山中です。木々の葉がつやつやしていますね。これは冬でも葉の落ちない常緑樹の特徴です。手すりのそばにある写真を手がかりにして、見つけた生物を書いてみましょう。



いくつ見つけられるかな??

5 生物どうしのつながり

生物は食べる、食べられるの関係を持っています。（ ）は虫に食べられ、虫は（ ）に食べられます。さらに、肉食の動物がそれを狙っています。動物の（ ）も、むだになりません。このようなつながりを（ ）といいます。私たち人間は、このつながりとどのようにしてかかわっていけばよいのでしょうか。みんなで話し合ってみましょう。



6 房総の生物展示室のまとめ

気づいたことや感想を書きましょう。
